

平塚・湘南西部地区災害対策研修会 アンケート集計

開催日:平成27年2月1日(日) 会場:平塚市民病院

参加者:31名 アンケート回答数:27名 アンケート回収率:87%

1.職種と経験年数

1)職種 (図1)

単位:名

理学療法士	不明	その他 ^(*)
19	2	6

*1

その他	作業療法士	介護支援 専門員	介護職	生活相談 ・介護職
	2	2	1	1

2)所属 (図2)

単位:名

医療機関	老人保健 施設	デイ サービス	訪問リハ 訪問看護	行政	その他	不明
11	4	3	3	3	2	1

3)経験年数 (図3)

単位:名

未経験	5年未満	10年未満	10年以上	不明
1	9	6	10	1

2.研修会の評価

1)講義①「平塚市における消防体制と震災時に行った支援活動について」 (図4)

単位:名

評価内容 は 理解でき た	かなり そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	16	11	0	0

2)講義②「平塚市における保健師の活動内容と震災時に行った支援活動について」 (図5)

単位:名

評価内容 は 理解でき た	かなり そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	16	11	0	0

3)講義③「東日本大震災における支援活動-経験から感じたこと」 (図6)

単位:名

評価内容 は 理解でき た	かなり そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	21	6	0	0

1. あなたの職種と経験年数

図1. 職種

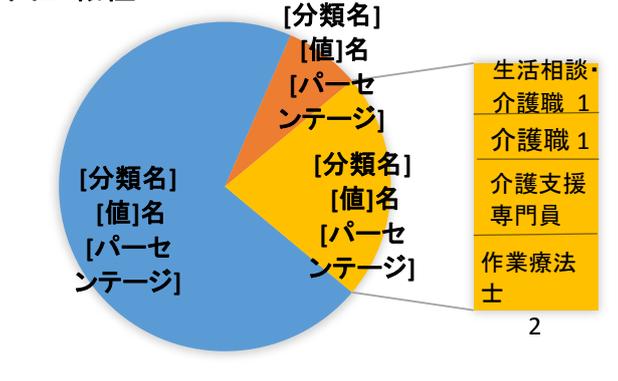


図2. 所属

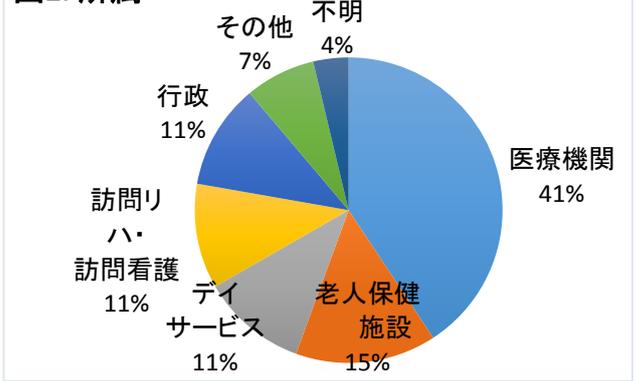
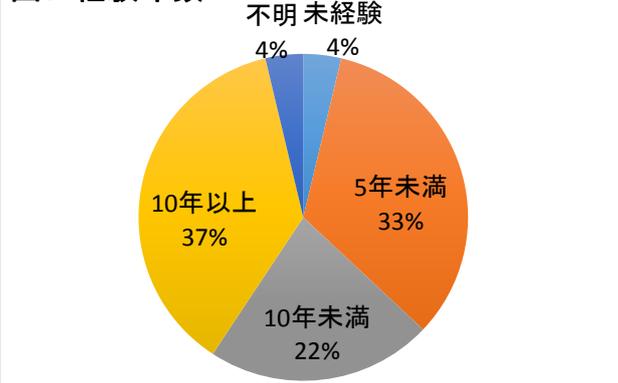


図3. 経験年数



2. 研修会の評価

図4. 講義①の内容は理解できた

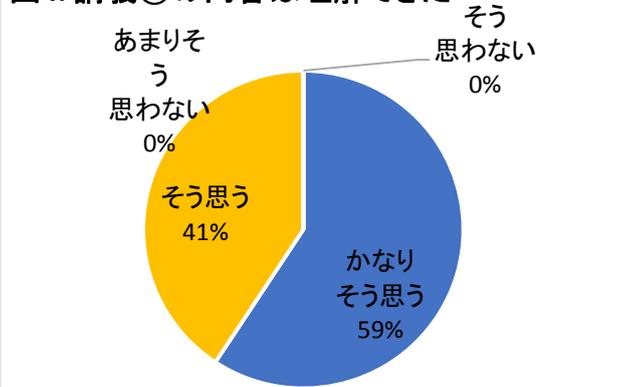


図5. 講義②の内容は理解できた

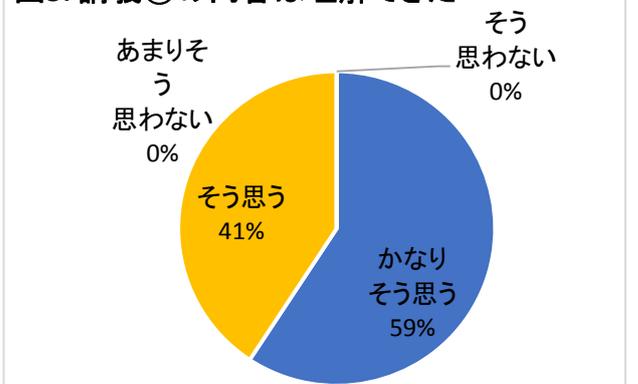
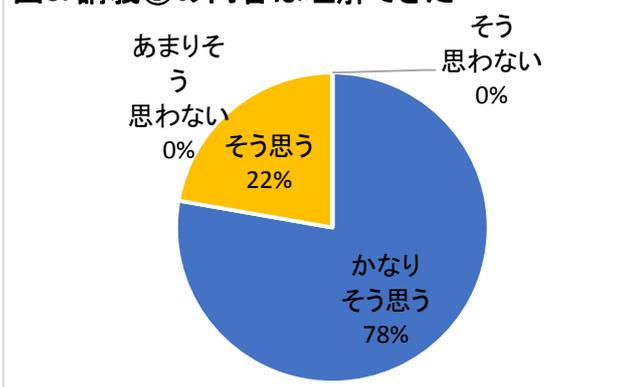


図6. 講義③の内容は理解できた



3.研修会に参加した感想

理学療法士	リハビリスタッフだけではなく他の職業の方たちの活動を知ることができて良かった。情報を知った上で普段の業務を行うとも大切だなと感じた。
作業療法士	実際に東日本大震災のボランティア活動をしてきた先生方の話を聞くことができ、自分に何ができるかを改めて考える良い機会になった。
	震災から約4年も経過して、自分の中では薄れていた感情がまた再度気づかされました。いざという時の備えの体制作りにも自分も協力していきたいと思う。
	実際の体験を聞く機会となり、身近なものとして感じる事ができた。
	これをきっかけに「地域力」連携がはかれていくことを願っています。
	実際に足を運んだ方の話を聞いて大変勉強になりました。またぜひ参加したい。
	災害対策の話聞かせてもらい、自身の地域について今まで以上に考えていきたいと思った。
	消防や保健師の活動を知ることが出来て良かった。
	これからPTとして考えるべきことがわかった。実技(段ボールベッド等)はぜひ参加したい。
	平時からの準備の必要性を強く感じた。リハ科で何ができるか考えたいと思った。
	東日本大震災での活動の経験談を聞くことができ、実際に平塚地区で災害があった時に自分がどう対応すれば良いか参考になった。
	それぞれの市や行政の取り組み、他の専門職の取り組みがわかり勉強になった。
	消防、行政、リハ職の実際の体験、取り組みを紹介してもらいリアルな印象を持つことができた。
	ネットワークの構築の大切さ、常に災害に対する意識、何ができるのか、何をすべきか、何を求められるかを考え地域作りを意識したいと思う。
	多方面からの講義が聞けたことで現状の問題点としてあるもの、共有が必要なことが少しずつ追えてきた感じがした。
	地域の特性、主体性を考えたときのような流れでどのようなことができるか、これからも考えていきたい。
	自分にできることを一つ一つ前に進めていきたいと思った。
	もし自分が3.11のような場面に置かれた時の動きや、やるべきことがわかった気がする。
	災害が起きた時、リハができることがあるのだろうかと思っていたが、沢山やるべきことはあるのだなと感じた。地域、行政と密に連携することで、1人でも多くの人と関わり、被害を最小限にとどめられるよう考えていきたいと思った。
介護職員	つい忘れがちな、でもいつ起こるか分からない自然災害を改めて考えさせられる大切な機会となった。再度職場でも話し合えたらと思う。
	職場で起きたとき、休日の時など職場全体で考え地域に携われたらと思う。
介護支援 専門員	今後に活かしたい。
	有事の際の保健師、PT、消防の方達の動きが具体的に分かり有意義だった。今後の自分の仕事に活かしたい。
不明	良い研修ができた。
	他職種の活動内容を知ることの必要性を感じた。

4.今後の災害対策研修会について、また災害対策についての意見

理学療法士	自身が関わっている地域の災害対策に関する紙面での情報も欲しいと思った。
作業療法士	PTとしてできることを考えながら、また横のつながりを深めるための研修会に参加していきたい。
	個々の話を聞いてつながり、一人一人ができることを模索していると思う。情報交換会、つながる場を提供していきます。
	実際に災害が起こった時に自分が何をすることができるのか不安だったが、今回東日本大震災のケースを通して知る事ができた。今後も詳しく話を聞くことができたらいいと感じた。
	研修会のタイムテーブルがあると聞きやすい。
	できれば県内の各市に向けたPT協会の協力体制をどうするのか明確にして欲しい。また県を通して市内への協力可能な専門職と連携した形で積極的に情報配信をして欲しい。
	素晴らしい取り組みで勉強になる。千葉県でもがんばります。
	様々な視点から災害対策について学びたいと思います。
介護支援 専門医	段ボールベッドの作り方、以前阪神大震災の時に実際に活動した看護師から、用意すると便利だった物などの提案も良いかと思った。
不明	それぞれの職種の役割について知ることができた。今後は他職種間が災害時に専門性を活かしてどのように連携できるか、他職種が集まってグループディスカッションをできる場があると良いのでは？